

兵庫県のアルプスを登るシリーズ7

加西アルプス

2025年11月30日

<参加メンバー>

参加メンバー：9人（男性5人、女性4人）

天候：晴れ

<コースタイム>

善防公民館駐車場(9時集合 9時10分開始) → 善防山 (9時45分) → 吊橋(10時20分) → 磨崖仏(10時30分) → 古法華寺(10時0分) → 笠松山 → 善防公民館駐車場 12時30分

<山行の概要>

コースが6Km 笠松山標高243mと予定コース仮 2時間 と午前中に戻る予定から、午後から観光を計画していました。

車2台(宝塚発)と1台(神戸発)で 善防公民館駐車場に集合。晴天の空に気球が上がっていました。

準備運動の後、ハイキング開始。最初は善防山標高251m。その後古法華寺からつり橋を経由して笠松山を目指しました。山頂工事の為山頂までもう少しのところで通行止めになっており、尾根沿いにつり橋に戻り駐車場に戻りました。ハンバーガ店「BUS STOP」で昼食後、鶴野飛行場跡に訪れ解散となりました。

【善防山】(ぜんぼうやま)は、兵庫県加西市にある標高251mの山。ここには、南北朝時代(1346年)赤松範資により善防師城が築城された。

【古法華寺】古法華に収蔵されている浮彫三尊仏龕(通称：古法華石仏)は、今をさかのぼること約1300年前の白鳳時代に彫られた石造彫刻。わが国最古の石仏で国重要文化財に指定されています。

【鶴野飛行場跡】

鶴野飛行場は、第二次世界大戦中、組立工場の専用飛行場として建設された。後に訓練基地や特別攻撃隊の出撃拠点となった。当時、紫電、紫電改が製造されており、それぞれ486機、44機が組み立てられた。(k.H)



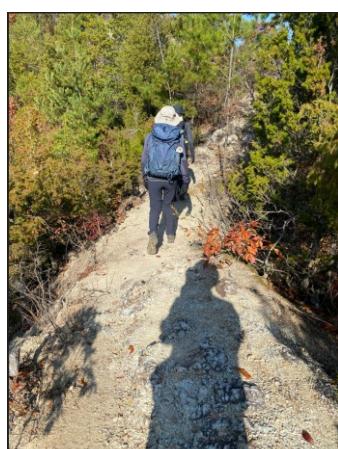
善防公民館駐車場で準備運動



加西の町の上空に気球が上がっていました。着陸はどうするのか?と疑問の声が。



善防山到着



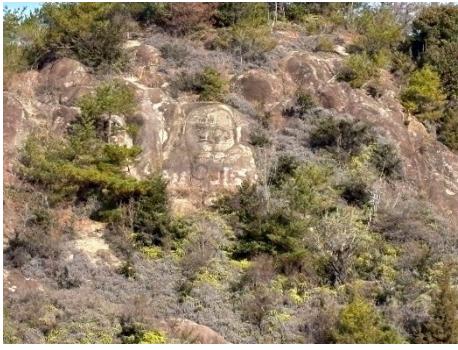
笠松山に向けて出発。この尾根道、左右に木で解りにくく、が左右とも崖でした。



つり橋の後は長い岩肌の鎖場



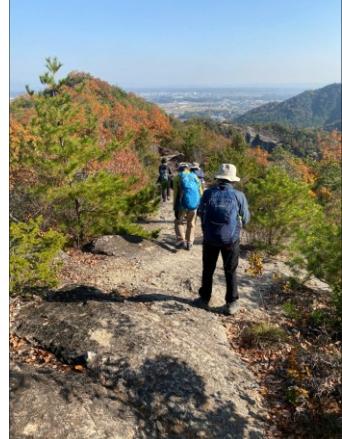
登りきると360° 絶景が待っていました。



磨崖仏が向かいの岩肌に。平成12年から14年かけ彫られたと。

古法華寺には、石仏がいっぱい祭られていました。

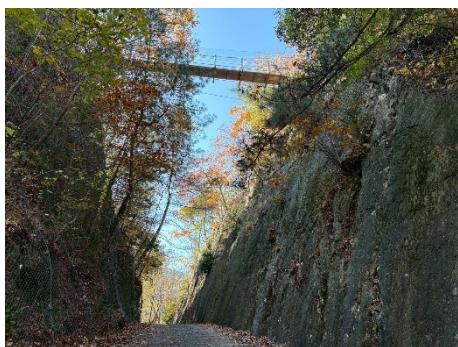
石仏坊主と北摂の坊主
御免なさい 🙏



笠松山まであと少しのところで通行止め。残念！

下山ルートも岩場が続きます

つり橋のところに戻ってきました



つり橋を再度わたります。
向こうに鎖場の岩肌が見え
ます

つり橋をくぐって駐車場へ



「観光」鶴野飛行場跡へ
戦闘機の模型の展示や防空壕跡がありました。